

事業報告書

(自 令和4年1月1日 至 令和4年12月31日)

1 医療法人の概要

- (1) 名称 医療法人 真寿会
- ① ☐ 財団 ☒ 社団 (☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり)
- ② ☐ 社会医療法人 ☐ 特別医療法人 ☐ 特定医療法人
- ☐ 出資額限度法人 ☒ その他
- ③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用

(2) 事務所の所在地 志木市本町5-18-22エルンティカ2F

(3) 設立認可年月日 平成11年 3月25日

(4) 設立登記年月日 平成11年 4月 13日

2 事業の概要

(1) 本来業務

種類	施設の名称	開設場所	許可病床数
診療所	よこやま歯科クリニック	志木市本町5-18-22エルンティカ2F	0

(2) 当該会計年度内に社員総会又は議決した事項

令和4年2月18日

令和3年度決算の決定

令和4年12月18日

令和5年度の事業計画及び収支予算の決定

様式 3 - 3

法人名 医療法人 真寿会
所在地 志木市本町5-18-22エルシティビル2F

※医療法人整理番号

貸 借 対 照 表
(令和4年12月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	43,825	I 流 動 負 債	8,086
II 固 定 資 産	34,423	II 固 定 負 債	26,014
1 有 形 固 定 資 産	2,914	負 債 合 計	34,100
2 無 形 固 定 資 産	2,367	純 資 産 の 部	
3 そ の 他 の 資 産	29,142	科 目	金 額
		I 資 本 剰 余 金	5,000
		II 利 益 剰 余 金	39,148
		1 代 替 基 金	0
		2 その他利益剰余金	39,148
		III 評 価 ・ 換 算 差 額 等	0
		IV 基 金	0
		純 資 産 合 計	44,148
資 産 合 計	78,248	負債・純資産合計	78,248

様式 4 - 2

法人名 医療法人 真寿会
所在地 志木市本町5-18-22エルシティカミ2F

※医療法人整理番号

損 益 計 算 書
(自 令和4年1月1日 至 令和4年12月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額
I 事業損益	
A 本来業務事業損益	
1 事業収益	80,485
2 事業費用	76,811
本来業務事業損失	3,674
B 附帯業務事業損益	
1 事業収益	0
2 事業費用	0
附帯業務事業利益	0
事業利益	3,674
II 事業外収益	112
III 事業外費用	96
経常利益	3,691
IV 特別利益	0
V 特別損失	0
税引前当期純利益	3,691
法人税等	752
当期純利益	2,939

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。

様式 2

法人名 医療法人社団 真寿会
所在地 埼玉県志木市本町5丁目18番22号 エルティミ201

※医療法人整理番号

財 産 目 録
(令和4年12月31日現在)

1. 資 産 額	78,248 千円
2. 負 債 額	34,100 千円
3. 純 資 産 額	44,148 千円

(内 訳)	(単位：千円)
区 分	金 額
A 流 動 資 産	43,825
B 固 定 資 産	34,423
C 資 産 合 計 (A + B)	78,248
D 負 債 合 計	34,100
E 純 資 産 (C - D)	44,148

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。	
土 地	(□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有 (部分的に賃借))
建 物	(□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有 (部分的に賃借))

様式 5

法人名 医療法人 真母会
所在地 埼玉県志木市本町5-18-22 エルシティミカミ2F

医療法人番号				
--------	--	--	--	--

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	資産 総額 (千円)	事業内容	関係事業者 との関係	取引の内容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)
	該当なし								

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者 との関係	取引の内容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)
	該当なし						

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

- (注) 1 種類は法第51条第1項に定める関係事業者のうち該当する関係を記載する。近親者である場合には続柄を記載する。
2 該当する取引がない場合には該当なしと記載する。(様式の提出は必要)

※関係事業者とは、当該医療法人と2に掲げる取引を行う場合における1に掲げる者をいいます。

1. 以下の2に掲げる取引を行う者

- (1) 当該医療法人の役員又はその近親者（配偶者又は二親等内の親族）
(2) 当該医療法人の役員又はその近親者が代表者である法人
(3) 当該医療法人の役員又はその近親者が株主総会、社員総会、評議員会、取締役会、理事会の議決権の過半数を占めている法人
(4) 他の法人の役員が当該医療法人の社員総会、評議員会、理事会の議決権の過半数を占めている場合の他の法人
(5) (3) の法人の役員が他の法人（当該医療法人を除く。）の株主総会、社員総会、評議員会、取締役会、理事会の議決権の過半数を占めている場合の他の法人

2. 当該医療法人と行う取引

- (1) 事業収益又は事業費用の額が、1千万円以上であり、かつ当該医療法人の当該会計年度における事業収益の総額（本来業務事業収益、附帯業務事業収益及び収益業務事業収益の総額）又は事業費用の総額（本来業務事業費用、附帯業務事業費用及び収益業務事業費用の総額）の10パーセント以上を占める取引
(2) 事業外収益又は事業外費用の額が、1千万円以上であり、かつ当該医療法人の当該会計年度における事業外収益又は事業外費用の総額の10パーセント以上を占める取引
(3) 特別利益又は特別損失の額が、1千万円以上である取引
(4) 資産又は負債の総額が、当該医療法人の当該会計年度の末日における総資産の1パーセント以上を占め、かつ1千万円を超える残高になる取引
(5) 資金貸借、有形固定資産及び有価証券の売買その他の取引の総額が、1千万円以上であり、かつ当該医療法人の当該会計年度の末日における総資産の1パーセント以上を占める取引
(6) 事業の譲受又は譲渡の場合、資産又は負債の総額のいずれか大きい額が、1千万円以上であり、かつ当該医療法人の当該会計年度の末日における総資産の1パーセント以上を占める取引

監 事 監 査 報 告 書

医療法人 真寿会

理事長 横山 宜佳 殿

私は、医療法人 真寿会の令和4会計年度（令和4年1月1日から令和4年12月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私たちは、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和5年2月20日

医療法人 真寿会

監事 林 京子

㊞